



明桜として初優勝

全県高校新人サッカー大会

本校男子サッカー部は、11月2日から行われていた全県高校新人サッカー大会で優勝しました。決勝は、延長戦でも得点が無く、PK戦に突入。PK戦で本校のゴールキーパーが相手のシュートを3本止め、明桜高校として初の栄冠を勝ち取りました(通算8度目)。今回は、主将の鎌田太耀さん(2年)に全県新人大会を振り返ってもらいました。併せて、ベスト4に進出した全国高校サッカー選手権大会の県予選の結果を紹介します。



チームが一つになって優勝 — 主将インタビュー



主将
鎌田 太耀

選手権予選終了後、1週間で全県新人大会に臨みました。時間は限られていたので、全員攻撃、全員守備の基本の確認と攻守共に、消極的なプレーをしないことを徹底しました。

大会4試合で1失点。フォワードの選手が、前からプレスを掛けてくれた

ので、ディフェンダーの守備の負担が減り、攻撃へのサポートも多くなりました。全員が守備の意識をしっかりと持って試合に臨んでくれたことに感謝しています。決勝では、押し込まれる時間帯もありましたが、いつも以上に選手がお互いに声を掛け合って集中力を切らさずに最後までプレーすることができました。これが、優勝につながったと思います。

令和元年度全県高校新人サッカー大会

試合	得点		対戦校	
決勝	0	0 - 0	秋田商業高校	
		0 - 0		
		0 - 0		
		0 - 0		
		PK(3 - 2)		
準決勝	2	1 - 0 1 - 0	0	新屋高校
2回戦	2	0 - 1 2 - 0	1	秋田西高校
1回戦	3	0 - 0 3 - 0	0	男鹿工業高校



優勝を目指して戦い抜く

昨年のこの大会で準優勝した本校は、優勝を目標に臨みました。今大会ではシード校として3回戦から出場。初戦は8得点、続く準々決勝も7得点と2戦連続の大量点で勝利し準決勝に弾みをつけました。

準決勝は、昨年の決勝で対戦した秋田商業高校との試合。ゴールキーパーの若林圭佑(3年)は「この試合を一つの目標としてやってきました。絶対に勝つ気持ちで試合に臨みました」と勝利への強い思いを話してくれました。試合前半は、0-0。後半、失点はしましたが、攻撃的な布陣に替えて積極的に攻めて得点を上げます。主将の荒井爽(3年)が粘って折り返したボールに足利光嵐(3年)が合わせて1点を返しました。その後も相手ゴールキーパーとディフェンスの間にパスを通して、ゴールに迫りましたが、一步及びませんでした。

第98回全国高校サッカー選手権大会秋田県大会

試合後、若林は「試合に勝てず悔いは残りますが、得点は3年生が連携した得点だったので、3年生の力、気持ちを感じました」と試合を振り返りました。惜しくも勝利することができませんでしたが、全員が試合終了まで諦めることなく戦い続ける姿がありました。

試合後、若林は「試合に勝てず悔いは残りますが、得点は3年生が連携した得点だったので、3年生の力、気持ちを感じました」と試合を振り返りました。惜しくも勝利することができませんでしたが、全員が試合終了まで諦めることなく戦い続ける姿がありました。

第68回全国高校サッカー選手権大会秋田県大会

試合	得点	対戦校
準決勝	0-0	2 秋田商業高校
	1-2	
準々決勝	3-0	0 大曲工業高校
	4-0	
3回戦	5-0	0 秋田北鷹高校
	3-0	



明桜高校男子サッカー部 MEIOH HIGH SCHOOL SOCCER CLUB

クラブニュースレター担当 〒010-8515 秋田市下北手桜守沢 46-1 TEL 018-836-6527

